紅　陵

第１３７号　令和５年１２月１５日発行
岐阜県立土岐紅陵高等学校
編集責任者　　PTA 会長　林　純子

今年度を振り返って

ＰＴＡ会長　林　純子

日頃からＰＴＡ活動に多大なるご理解とご協力を賜りありがとうございます。昨年までは新型コロナウイルス感染症の影響でＰＴＡ活動が中止や規模の縮小となっていました。本年度もＰＴＡ総会が書面での開催となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症も５類に移行され、徐々に活動ができるようになりました。

５月と１０月に「ハローモーニング」を行い、２日間生徒の登校する様子に触れながら声をかけ合い見守る活動をしました。５月には授業参観を計画し、懇談会以外に学校に足を運ぶことができないＰＴＡの方達会員のみなさんに家庭とは違う子供たちの様子を見てもらい、学校で気付いたことなどをアンケートに記入していただきました。アンケート結果を先生方と共有し、今後の活動にいかしています。７月には、全国野球選手権岐阜大会の応援に参加しました。熱中症対策を考え、飲み物の提供をしました。昨年までは感染症の影響で参加できませんでしたが、野球部の保護者の方々や先生方、生徒の皆さんと一丸となって選手を応援することができました。試合には負けてしまいましたが結果ではなく、選手も応援席も心一つになり、思い出に残る良い試合となりました。

紅陵祭では、コロナ前ではＰＴＡ役員の方達とバザーをし、焼きそばやフランクフルトなどを販売していました。しかし、感染症の影響により紅陵祭自体が中止になり規制もありました。その為ＰＴＡではタオルの配布をしました。今年はコロナウイルス感染症も５類に移行され、以前の様にバザーをするのかなど役員で模索しました。仕入をして売るキッチンカーなどいろいろな意見が出ましたが物の販売となると買う人、買わない人がいるので生徒全員参加で何かできないかと今年は全員で「ＢＩＮＧＯ」に決めました。紅陵祭当日、オープニングの後に時間をいただきＢＩＮＧＯ大会を開催しました。全てが初めてのことで手探り状態でしたが、スムーズに進行ができ会場全体が盛り上がり楽しい時間を過ごせたと思います。役員の方々には感謝しかありません。「今できる１番」を探して子供たちの成長の力になれるよう役員一同、活動の幅を広げて今後も活動していきたいと思います。

ＰＴＡ活動を振り返って

ＰＴＡ副会長　奥山　恵理子

一年間、様々なＰＴＡ活動に参加しました。ハローモーニングでは、役員の他に生徒会の皆さんや先生方も参加して下さり、生徒の皆さんが笑顔で挨拶してくれることが多く、いつも気持ち良い朝が始まると感じました。授業参観では、先生方が生徒の興味を持つ話を取り入れて、わかりやすく授業されていました。生徒がグループ内で楽しく教え合う姿が見ることができました。また、限られた時間の中で与えられた課題に必死に取り組んでいる様子も見ることができました。紅陵祭では、今の高校生が喜ぶ内容をどうしたらよいかと考えた結果、「ビンゴ大会」をすることになりました。生徒の皆さんがルールを守って大変楽しく取り組むことができて、大成功になりました。私は手話のステージ発表を見ました。生徒の皆さんが日頃の練習成果を伝えたい気持ちが手話を通して伝わり、大変胸が熱くなり、『手話に興味を持つ子が増えたらいいな。』と思い、とても感動して自然に涙が出てきました。球技大会では、競技が始まるにつれてお天気も良くなり、生徒さんの熱い声援もあがり、バレーボールをしながらチームワークの良さが伝わり、大変楽しく見ることができました。校長先生と楽しいお話もできて、ゆっくりと球技大会を見学することができました。

紅陵高校は、生徒一人一人が様々な選択授業を通して自分の進路実現ができるように色々な資格が取れて、楽しく学べる学校です。私の娘もこの学校に通わせて良かったと思い、大変感謝の気持ちでいっぱいです。

ＰＴＡ活動は最初は正直このままコロナの影響で子供達のために、何も出来ないで終わってしまうのではないかと大変心配していました。しかし、徐々にコロナ感染がおさまり、様々なＰＴＡ活動を行うことができました。色々なＰＴＡ活動に参加することで、生徒の皆さんの学校生活の様子が多く見られて、大変良い思い出ができました。そして、校長先生や先生方と会話をすることで、紅陵高校の良さをたくさん知ることができました。

ＰＴＡ活動に協力してくださった保護者の皆さん、先生方、大変お世話になりました。ＰＴＡ役員をやって良かったと思えた３年間でした。

各種行事

球技大会

今年度は、春と秋、計2回の球技大会を行うことができました。

今年度は新型コロナウイルス感染症による制限がなくなり、決勝戦の全校観戦や、教員チームと優勝チームのエキシビションマッチなど、全校生徒と教員が一体となって球技大会を行うことができました。

試合はキャプテンを中心に力を合わせて取り組み、熱い戦いが繰り広げられました。球技大会を通して仲間と協力する姿や一生懸命取り組む姿がたくさん見受けられ、とても心に残る大会となりました。

来年度は今年度以上に活気のある球技大会を目指していきたいです。

☆春季大会（5月18日）

【男子バレーボール】

優　勝	３年３組 B
準優勝	３年２組 A
３　位	２年１組 B

【女子バレーボール】

優　勝	２年１組 B
準優勝	３年１組 A
３　位	２年２組 B

【総合順位】

優　勝	３年３組
準優勝	３年１組
	２年３組
３　位	２年２組

☆秋季大会（11月８日）

【男子バレーボール】

優　勝	２Ｂ
準優勝	２Ａ
３　位	１年１組Ａ

【女子バレーボール】

優　勝	３Ａ
準優勝	２Ｆ
３　位	２Ｄ

※秋季大会は総合順位はなし

いのちの教育

「いのちの授業講師派遣事業」

7月５日（水）に、令和5年度いのちの教育（いのちの授業講師派遣事業）を実施しました。

【実施目的】

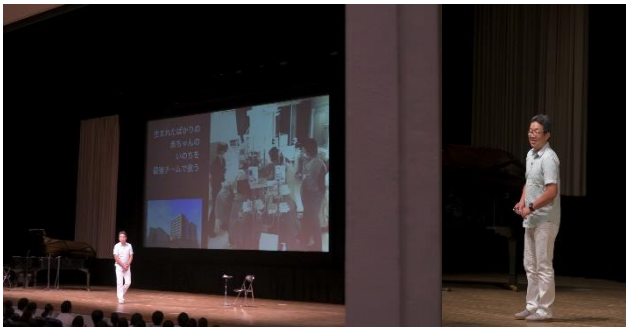
生徒が命の大切さを改めて実感できる機会となることを目的とします。

家庭環境の多様化が一層進んだことや、夢や希望が持ちにくくなり生きることへの不安が増長している中、子供たちの生命を育む教育や安心・安全を守る活動など、教育が担う役割の重要性が一層増してきている。こうした状況を踏まえ、自他の「いのち」を尊重する態度・姿勢や、「いのち」の豊かさを育む教育を推進するため、いのちの授業講師派遣事業を実施します。

【実施場所】 土岐市文化プラザサンホール

【講 師 名】 寺澤　大祐　先生
（岐阜県総合医療センター新生児内科医長）

先生の経験から命の大切さをわかりやすく、そして自分のこととして捉えられる観点から話していただきました。



また、ドラマ「コウノドリ」のお話や、ピアノの引き掛かりをまじえながら、楽しく心に響く講演となりました。

紅陵祭

今年度の紅陵祭はコロナの規制もおおよそ取り払われた状態で実施でき、生徒ものびのびと活動することができました。

特に今年は、有志発表の参加団体数が9団体とたくさんの応募がありました。会場を巻き込む出演者の工夫により、体育館が一体となりライブハウスのような盛り上がりを見せました。

また、例年のごとくPTAの方々にもご協力をいただきました。今年度は上位者には飲食店で使える商品券が当たる「ビンゴ大会」でした。生徒は数字が発表されるたびに一喜一憂し、心をワクワクさせていました。

クラス発表に関しても、個性あふれる出し物が多く、観覧される人を笑顔にしてくれました。今年度の紅陵祭は、当日の出し物もさておきながら、紅陵祭に向かうまでの姿が非常に良かったと思いました。時には仲間と意見がすれ違うことや、自分の意見が反映されず悲しい思いをした人もいたと思いますが、紅陵祭一週間前のクラス活動で、楽しそうに仲間と交流し合う姿が非常に印象的でした。紅陵祭を通して仲間と協力して一つの作品を作り上げる楽しさを、多くの人が実感できたのではないでしょうか。

今年度も素晴らしい紅陵祭となりました。来年は更にレベルアップした紅陵祭を展開したいと思います。

企画一覧

クラス	タイトル	内容	発表場所
1年1組	フォトブース	可愛い、かっこいいフォトスポットを作ります	1－1教室
1年2組	呪われた魔病院	病院をコンセプトとしたおばけ屋敷でスタンプラリーに挑戦してもらいます	1－2教室
1年3組	アクアプラネット	アクアリウムとプラネタリウムでフォトスポットを作ります	1－3教室
2年1組	GENIUS 21	音楽を流し、異空間でありながら楽しい空間を作り出します	3A教室
2年2組	映えスポット	アメリカンな雰囲気の映えスポットを作ります	2－2教室
2年3組	VS2－3	キッキングスナイパーに挑戦してもらいます	2－3教室
3年1組	縁日スタンプラリー	縁日とスタンプラリーの融合	3－1教室
3年2組	冥土喫茶	メイド喫茶をコンセプトとしたおばけ屋敷です	3－2教室
3年3組	集まれおぎしょの森	少し背伸びをした大人のような空間で、ゲームをします	3－3教室 2B教室
生徒会執行部員	オープニング企画	動画発表、○×クイズを行います	ステージ
PTA母親委員会	viva ビンゴゲーム大会	今年はビンゴ大会で盛り上がりましょう	ステージ

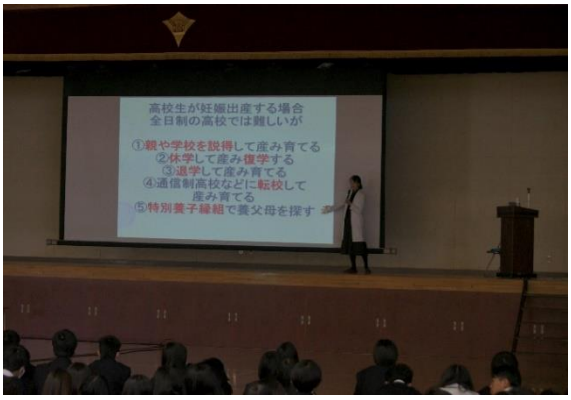
団体	タイトル	内容	希望会場
器楽・器楽基礎	可愛くてごめん	ピアノの演奏を行います	ステージ
手話	手話歌	歌詞の内容を手話で表現します	ステージ
点字	詩の表現	選択者それぞれの好きな歌(詩)を点字文と墨字文で作成し、展示します	図書館周辺
書道	書道展	書道選択者の作品を展示します	書道室
漫画研究部	作品集の展示販売	学校祭に向けて制作した作品集「BELL FLOWER DX 2023」を展示、販売をします	3C教室
美術部	Be Original art	美術部員、顧問の先生の作品を展示します	ランチルーム
科学部	ペットボトルロケットを飛ばそう	ペットボトルロケットの発射をたいけんしてもらいます	グラウンド
吹奏楽部	キラキラブラスバンド	練習してきた楽曲を演奏します	ステージ
図書委員会	彩 ～本の世界へ～	図書委員のお気に入りの本を切り絵にし、窓に展示します	本館2F 図書館前廊下
保健委員会	砂糖の取り過ぎにご注意！	ジュース一本に入っている砂糖の量を視覚的に理解できる展示を行います	保健室前

人権講話（ひびきあいの日）

11月16日（木）「ひびきあいの日」 に、令和5年度人権講話を実施しました。

性に関する指導講師派遣事業を利用して、専門医による生徒を対象とした性に関する講話を拝聴しました。

1 目 的　人権を尊重する観点から、性教育の視点にたった相手への気づかいや思いやりを考える機会とする。
2 日 時　令和5年11月16日(木)5･6限
3 場 所　土岐紅陵高等学校　体育館
4 テーマ　「自分も相手も大切にできる関係づくり」
5 講 師　廣瀬内科クリニック
副医院長（産婦人科医）
廣瀬　玲子　先生



総務部関連行事

涉外、PTA、防災、保健、図書関係と多岐に渡る仕事があります。中でも、PTA会長さんをはじめPTA役員の皆様がた、並びに総務の先生方のご努力によって、一年間、無事に終わろうとしています。

今年、相川校長から「中学校への生徒募集をお願いしたい」というミッションをいただきました。「涉外」という言葉は、外部と連絡・交渉をすること、とあります。県立高校では、珍しく半信半疑で転勤して参りましたが、自分の長所を生かす場面となりました。

余り細かく書きませんが（㊙）、年間を通しての活動を報告して会報とさせていただきます。

6月は、活性化推進部長井上先生と打ち合わせをしながら、夏のオープンキャンパスに多くの中学生を動員することによって、まず、土岐紅陵高校のファンを多く設定することに力点を置きました。お陰様で、中学生数減の中、昨年を少し上回る参加者となり、夏のオープンキャンパスは、多くの先生方のご協力により成功に終わったと言えます。

9月は、独自選抜を中心に、近い距離の中学校を中心に訪問をさせていただき、情報交換を丁寧にさせていただきました。お陰様で、中学校の校長先生方は、まだ、田中の存在を熟知しておられる方も多く、割と細かく情報交換をさせてもらうことができました。同時に、10月上旬の秋の高校見学会のチラシを配布し、この時期の参加者数は、相当増やすことができました。

10 月の中学校訪問は、11 月 12 日の多治見地区高校フェアへの参加者を増やす案内をしました。わが校だけは、微増となりました。

このように、ほぼ自由に中学校への募集活動をさせてもらいました。冷静に考えれば、本来の涉外活動をさせてもらえただけのことです。校内のことしか見えない管理職が多い中、相川校長の方針のように動けば、必ず受験者数増となり、校内の生徒の状況がどう変化していくかは歴然としています。ただ、最低3年は継続しないといけませんね。私は、常勤講師という立場であり、いつまでも、土岐紅陵高校に残れないかもしれませんが、「涉外」という言葉の本来の意味を多くの方々に理解していただけたのならば嬉しく思います。定員を割っている高校が多々ありますが、どこの高校でも、きちんと涉外活動をすれば、生き返ることができる筈だと思います。土岐紅陵高校の各チラシ、とても評判が良かったことも、ここまで、順調に来れた要因かと思います。

来年が、皆様にとって良い年になるよう祈っております。いや、我々の力で良い年にしましょう。

総務部長　田中　洋

各学年活動

１年生

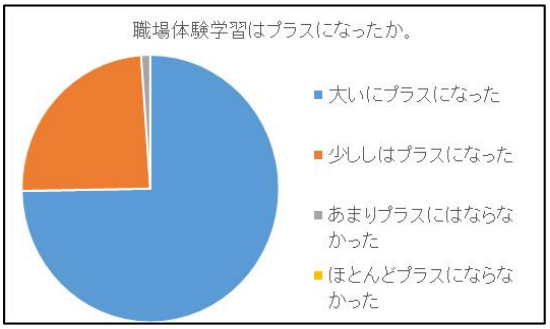
職場体験学習

1年次生は、10月３日(火)から5日(木)にかけての３日間、職場体験学習(高校生インターンシップ)を実施しました。

主な体験先は、新興窯業、土岐ダイナパック、日本トムソン、小島土木、石黒商事、　サンマート土岐口店、とき陶生苑、土岐市図書館、土岐市北消防署、おさしま二葉こども園、多治見大和幼稚園、土岐市立肥田小学校附属幼稚園、BRaeVE hair design などで、1年次生89名が38か所の事業所で体験をしてきました。

今年度の傾向として、幼稚園等への体験希望者が28名と多く、安易に選んでいないかと心配をしていました。しかし、意外にもすぐに子どもと仲良くなる生徒が多く、幼稚園から「子ども達の年齢による発達の違いに気付き、優しく丁寧に接することができていた。」とコメントをもらった生徒もおり、自分の適性にあった体験先を選んでくれたのだと感心しました。

実施後の生徒アンケートで、「職場体験学習はあなたにとってプラスになりましたか。」と言う設問に対して、以下のような結果となり、実施して良かったと考えています。



次に、生徒の感想を2つ紹介します。

「機械のトラブルが発生したとき迅速な対応をされている姿、私が何度かミスを起こしてしまったときすぐにカバーしてくださっている姿を見て仕事に対する責任を感じました。初めての環境で緊張が続く3日間でしたが、体験前よりも成長した自分を実感することができました。「これまで、土木の仕事といったら肉体労働の激しい男社会の仕事なのだと思っていましたが、今までのイメージがガラリと変わるような、とても良い体験学習だったと感じています。『土木の職場とは、機械に強ければ、力が強くない人でも関係なく仕事ができるようなところだ!! 』と、伝えていきたいです。」

［職場体験学習の様子］

また、１０月６日(金)には、お礼状を書いたり、発表用のパワーポイントを作成したりと、職場体験学習のまとめを行いました。そして、１０月１２日(木)の産業社会と人間の２時間を使って、各クラスで発表会を行いました。それぞれの生徒が体験したことを共有できたのではないかと思います。

職場体験学習を通して、生徒たちはひとまわり大きく成長してくれたと感じています。

２年生

修学旅行

10月３日（火）～6日（金）に（3泊4日）修学旅行に行ってきました。本年度は4年ぶりに沖縄県に行ってきました。

平和研修、自然・文化体験を中心に亜熱帯気候の自然を満喫しながら、食文化に無振れ有意義な旅行となりました。

１日目

まず、日本で唯一内地戦が行われた沖縄において、命の尊さ平和の大切さを学習しました。平和祈念資料館で貴重な講和を拝聴し、見識を深めたのちに慰霊碑において献花・平和の誓いを行いました。

その後、糸数壕を訪問して当時の生活ぶりを見学し、ガイドさんから壕の役割や生活ぶりについて説明を受けました。

事前学習をしっかりしていたので、真剣な態度で拝聴し、自分たちの言葉で平和への誓いを訴えてくれました。

2日目

班別タクシー研修を実施しました。一泊目のホテルから班ごとにタクシーに乗り込み、事前に計画した行程に従って研修しました。

運転手さんにアドバイスを受けて多少のコース変更はあったものの、決められた時間まで思い々の研修を楽しんでいました。

2日目と3日目は名護市のリゾートホテルに連泊。海に面したホテルで、到着するや否や砂浜に出てたわむれていました。

3日目

沖縄海洋博記念公園の「美ら海水族館」を見学し、ジンベイザメをはじめ亜熱帯に生息する様々な生き物を観察してきました。

午後からは、マリーンスポーツ体験と琉球文化体験のグループに分かれ、それぞれの体験を通じ普段では味わえない経験を楽しみました。

夕食は砂浜でＢＢＱ！！最高のひと時でした。

4日目

最終日は国際通りで自由研修です。お土産を買いこむ者、食べ歩きを楽しむ者。最終日の沖縄を時間いっぱいまでエンジョイしていました。

国際通り散

食べ歩き！

那覇空港から飛行機に搭乗して、なごり惜しいですが家路に向かいました。到着時間は予定より少し遅くなりましたが、大きな事故も無く、楽しく笑いながら思い出深い4日間を過ごすことができました。

３年生

①　遠足

5月９日、ナガシマスパーランドへ行って来ました。GW期間中を避けてこの日程にしたこともあって園内は比較的混雑さは少なかったようです。その中で、生徒の、楽しむ姿が多く見られました。

②進路実現に向けて

就職希望者は「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」において、企業研究、面接練習、SPI学習に取り組みました。生徒たちはよく努力を重ね、自信を持って就職試験に臨むことができました。

ハローワーク主催面接練習の様子

進学相談会

進学希望者は進学試験の準備と並行して「課題解決学習」において、各グループのテーマによる研究に取り組んできました。11月中に学年全体で発表し、選考された生徒たちが、令和6年1月19日（金）土岐市文化プラザにて、代表として発表を行う予定です。

部 活 動 紹 介

ウエイトリフティング部

ウエイトリフティング部は「愛される部活動になる」という目標を掲げて日々活動をしています。本年度は新型コロナウイルス感染症の 5 類移行で大会等での制限もなくなりかつての熱気が戻ってきました。成績といたしましては、東海大会に 4 名出場、女子寺倉未夕伽さんが優勝し全国高校女子大会に出場しました。男子では大山颯太君がインターハイに出場しました。インターハイ出場は本年で５大会連続出場となりました。しかし全国との壁は高く、選手・監督含め悔しい思いをしました。戦うべき相手は全国のライバル達であると再認識しそのライバルたちの背中を追いかけまた追い越そうと意識を高く日々の活動に取り組んでおりますので、今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

弓道部

私たち弓道部は、12月現在1年生4名、2年生4名、3年生2名の計10名（男子4名、女子6名）で活動しています。弓道場は校内正門の近くにあり、「弓道」と書かれた大きく立派な看板が目印となっています。静かな落ち着いた環境の中、集中して弓道に向き合うことができています。練習は平日放課後の4日間と土曜日の午前中を基本とし、大会や弓道審査が近いときには、土岐市弓道場に出向いて行います。

練習は講師の虎澤敏彦先生にご指導いただいています。大変丁寧にご指導をいただき、どの生徒も一生懸命に取り組んでいます。生徒同士もとても打ち解けており、先輩・後輩の関係を大切にしながらも、楽しく活動をすることができています。まず県大会出場を目標としつつ、更にその上を意識しています。今年度は日頃の練習の成果が実り、県総体と選抜大会の県大会に、団体女子と個人男女が出場できました。とりわけ県総体の団体女子では、5人の的中数で競うところを、本校は4人で参加した中での成果でした。弓道審査にも積極的に挑戦しており、二段が2名、初段が1名、一級2名、二級1名の成果が出ています。

今後も自分と向き合い、心を養う弓道を追究していきます。ご声援宜しくお願いします。

卓球部

今年度は1年生が多く入部してきたので、昨年度までに出場できなかった団体戦に出場できるようになりました。卓球の団体戦は、最低4人で1チームを組み、4つのシングルスと1つのダブルスを戦い、3戦先取で勝敗が決まるというルールです。

7月23日(日)に、麗澤瑞浪高校で実施された東濃地区総合体育大会卓球競技の部(学校対抗)で、女子は3位の賞状を獲得することができました。女子の出場校は7校で、これを2つのリーグに分けて、各リーグで2位までになったチームが3位以上確定で、決勝トーナメントで優勝を争うという試合形式でした。

くじ引きで3校の予選リーグに入ったのがラッキーでした。多治見西高校に3対0で勝ち、多治見北高校に2対3で惜しくも負けてしまいリーグ2位となりました。決勝トーナメントでは麗澤瑞浪高校に1対3で負けてしまいましたが、3位として表彰されました。これは、ふだんから学校だけでなく地域の卓球クラブで練習してきた成果だと思います。

この時の東濃総体で男子は、12校の参加で4つのリーグに分かれて戦いました。多治見西高校に対して2対3と惜敗、中京高校とは0対3で完敗という結果になりました。しかし、試合が終わってから、「本校と実力が同じくらいなので練習試合をやりませんか」と多治見高校の顧問の先生から声をかけていただき、9月2日(土)に本校で練習試合を実施することができました。

卓球協会主催の試合については、ありがたいことに試合の多くが多治見市のTYK体育館で開催されるため、参加しやすいのですが、参加費がかかることもあり、今年度は数人規模で試合に出場しています。

・岐阜県高校生新人卓球大会　個人の部
　2名参加（8/10(木)実施）
・ニッタク杯第 42 回東濃卓球選手権大会
　一般男女シングルス
　4名参加（8/11(金)実施）
・全日本卓球選手権大会東濃地区予選
　ジュニアの部
　3名追加（9/9(土)実施）
・岐阜県ジュニアオープン卓球大会
　2名参加（9/30(土)実施）
・岐阜県卓球選手権大会
　2名参加（12/2(土)実施）

いずれも輝かしい成績を残しているわけではありませんが、1勝したときの喜びや負けたときの悔しさを糧に日々練習しています。

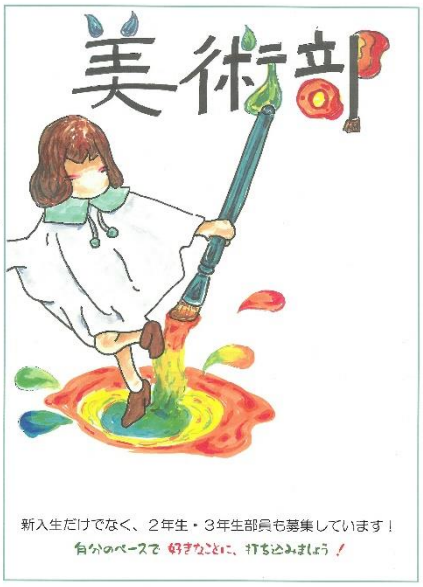
今年度、PTAの部活動育成会の部活動補助費で卓球ロボット[Yasaka Y-M-11α]を購入していただきました。以下の写真では少し見にくいのですが、サイドネットがあり適切に返球できた球が再び送球されることや、回転の強度や送球されるコース・ピッチをプログラムできることから、選手の技量に応じて1人でも卓球の練習が効率よくできるようになりました。ありがとうございました。

美術部

現在、土岐紅陵高校美術部は１年生６名、２年生３名、３年生５名、合計１４名で活動しております。本校は総合学科として美術・工芸系列があるので、２，３年生の部員の多くは美術・工芸系列にも属し、学校生活のほとんどを、作品づくりやものづくりに打ち込んでいます。平日の放課後は美術室に集い、それぞれが自分の表現主題に沿った作品作りをしています。土日には、美術館に展覧会を見に行ったり、高文連の行事に参加したりしています。特に、来年令和６年度には、全国高等学校総合文化祭が「ぎふ総文」として岐阜市で開催されます。現在、美術部員はその実行委員として、年に数回開催される準備委員会で、来年４００名以上の参加者を迎える準備活動をしているところです。

第 16 回東濃地区高校美術展

デザイン部門　優秀賞　小島　太駆

10/14 ぎふ総文実行委員会の様子

ぎふ総文で全国の美術部員をおもてなしする際に、岐阜にちなんだ工芸品（水うちわ風絵絹うちわ・モザイクタイルコースター）を一緒に制作し交流するという企画を準備しています。